

令和7年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力部 産業振興室 商工労働課

1. 基本情報

110106

施設名	伊丹市立産業振興センター		
施設の設置目的	産業の振興並びに情報化の推進を図る。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：市民力・にぎわい・活力 施策：商工業 実施施策：地域産業の振興と企業活動支援		
指定管理者の名称	伊丹商工会議所 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前2-2-2		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	令和5年4月1日～令和8年3月31日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	産業振興センターのセミナー等参加者数（単位：人）	
	指標の意味	産業振興センターで実施するセミナー等（交流会含む）に参加した人数	
	今年度の目標値	510	今年度の実績値 440

2. 利用状況

利用状況等の推移		R2	R3	R4	R5	R6	R7 (通期)
	来館者数(人)	20,361	155,477	44,670	32,319	32,609	56,371
	貸し室稼働率(%)	80	98	92	34	39	43
	講座開催回数(回)	170	87	124	22	21	21
	講座参加者数(人)	505	452	432	501	453	440

3. 経費情報

区分		令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	3カ年平均	
収入	使用料収入	0	0	0	0	
	事業収入	460	343	375	393	
	その他	540	176	181	299	
	指定管理委託料	53,636	52,029	53,197	52,954	
	①合計	54,636	52,548	53,753	53,646	
支出	維持管理	光熱水費	2,767	3,123	3,067	2,986
		清掃等委託料	5,739	5,809	5,797	5,782
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	1,910	1,701	1,839	1,817
	運営	人件費	29,841	29,971	28,203	29,338
		事業等経費	11,589	10,878	12,207	11,558
		その他	491	359	532	461
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	52,337	51,841	51,645	51,941		
純収支(①-②)		2,299	707	2,108	1,705	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	市の収入	6,286	3,214	5,507	7,325	8,639	8,151
	(内、使用料収入)	3,244	383	2,645	4,393	5,596	5,056
	市の支出	49,243	49,678	49,971	53,765	52,143	53,311
	(内、指定管理委託料)	49,043	49,510	49,808	53,636	52,029	53,197
実質経費(歳出-歳入)	42,957	46,464	44,464	46,440	43,504	45,160	

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	毎日管内清掃を実施。定期点検を適切に実施。備品等は適切に管理。修繕は適宜協議を実施。	B	館内は常に清潔に保たれている。修繕の必要が生じた際は市と協議を行い適切に実施している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	職員を適切に配置。月2回の職員研修を実施。防火管理者等を適切に配置。	B	職員研修を計画通り実施し、資格を持った職員を適正に配置している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急時の連絡体制を整備。避難訓練を年2回実施。	B	緊急連絡網が整備され、避難訓練も適切に実施している。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	利用者目線で運営。アンケートの実施により、利用者の意見等を反映。苦情・トラブル対応を適切に実施。	B	来館者の目線に立った施設運営が心掛けられている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	計画通り適切に実施。	B	計画通り事業を展開している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取組	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種情報の取扱や管理を適切に実施。	B	適切に取扱、保管されている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に実施。	B	適正である。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。
「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。
「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	協定書、仕様書等に基づき、適正に施設管理運営が行われている。社会の変化やニーズに合わせた講座等を行い、市内業者の支援を継続して実施した。今後も利用者が安全・快適に利用できる施設運営や、多様化する事業者ニーズに則した事業が展開できるよう、共に協力し運営を行っていく。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。
「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。
「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】

令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有	Q1.施設内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか →A.はい180(100%)、いいえ0(0%)	アンケートの結果から見ると、清掃面や接遇、また全般に関しても利用者の満足度は高い。今後も引き続き良好な状況を維持するだけでなく、5Sを念頭に置いて改善を進めていく。
回答者数	Q6.施設を利用して全般的な満足度はいかがですか →A.大変満足141(78%)、満足38(21%)、不満・大変不満0(0%)、未回答1	
180		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
-	-